

障がいある人や、ひきこもり不登校の人たちとの明るい社会をつくるために

わんぱく学園ニュース

平成31年 3月・4月号

No.195

色が少なくなった冬、その景色の中でこそ輝く色。早いものでは12月頃から2月にかけて半透明でツヤのある黄色く香り高い花……そう……ろう梅の花の咲く頃_____。

とわ

香り来て 変わらぬ思い 永遠に咲く

ろう梅から春を告げる梅の花にと香りをうつしていきます。変わらぬ思い理念が枝になり実をつけるのです。何事も初心が大切、初心忘れず始めた「わんぱく学園」。その当時画期的だと言われた学園、その姿の先に描いていた「わんぱく王国」。亡き夫と語り合っていた夢実現に向け、まだまだ歩み続けなければ〜と。だからこそ『初心』にかえることが大切なのでは？。

そんな思いで学園のアーカイブ（昔の学園ニュースで取り上げた記事）を今月号（No.195）から始めることにしました。 ～土江 和世～

〈アーカイブ その1〉

わんぱく学園物語・その始まり

“この子なくしては 到底経験し得ず”

わんぱく学園創設者：土江 和世

家にはそんな子はいません！！ “
と目の前で ピシャリと閉じられた扉……



今から30数年前、亡き夫と 障がいある子どもさんがいる家を36軒 一軒 一軒訪ね歩き、“障がいある子どもたちの居場所を一緒に作りませんか……？”とよびかけ あるご家族を訪問した時のことでした……

私は、哀しく 悔しく……涙にくれました。そんな時 夫はこう言いました。
“よかったね……このお家にはもう一度お話に来れるね……”
そう言って私を励まし、慰めてくれました。

私が妊娠7か月に入った頃

職場で転んでしまったことが原因でへその緒が首に巻きつき 長男“広”は知的障がいの子どもとしてこの世に生を受けました。

“我が子の事を 親が信じなきゃ 誰が信じるんだ！この子を誇りと思って共に育てよう！”という夫のことばに支えられ

障がいある子ども達に同じように居場所を探しているおやごさん達と共に楽しめる居場所として戸外遊び中心の学園をつくろう！！と活動を始めた矢先のことでした。

でもこのことがあったからこそ、何としても、居場所をつくらねば……と強く決意して、今日まで40数年、“わんぱく学園”という福祉の道を歩んでこれたのです。

目の前で閉じられた扉……だからこそ、その扉を開ける道が開けたのではないかな？と思っています。

そして そこから本格的に私の福祉の道がはじまりました。

まさか わが子が……自分には遠い世界だった“障がい”。

でも そのおかげで、「この子 なくしては到底経験し得ず……」と亡き夫が語ってくれたように、誇りをもって社会に呼びかけました。

今のような法的整備も まだまだ不十分な時代 障がいのある子の親が立ち上がって 楽しくまじわえる学園を！！

私たちの呼びかけが次第に広がり、昭和63年6月26日 “わんぱく学園”の開園式にまでにこぎつけました……



「わんぱく」という名前は99通の公募の中から決めました。

その中で一番多かったのが“わんぱく”でした。

親はだれしも 子どもが「わんぱく」であってほしい 元気いっぱいであってほしいと望むのではないのでしょうか？

“ゆめ”を目指す新たな取り組み・・・ということもあってか 心温かい人かちがたくさんお祝いに駆けつけてくれました。



そして参加者全員で
「手のひらを太陽に」
を楽しく合唱♪♪

新聞にも大きく紹介されました。 この歌はみんなの希望そのもの

ぼくらはみんな いきている いきているから うたうんだ
ぼくらはみんな いきている いきているから かなしいんだ
てのひらをたいように すかしてみれば まっかにながれる ぼくのちしお
みみずだって おけらだって あめんぼだって みんなみんな いきているんだ
友だちなんだ

こうして、今につづく 誰が来てもOK 出席もとらない、
誰一人こない時があってもあきらめない・・・いつまでも待ち続ける
つまり遊びを通して、また自然を通して学ぶ
という学園がスタートしたのです。

こうした活動が支えた理念は“地域になかったら、自分で作ればいい”・・・
という考えから生まれたものでした。

ろう梅の花



■ 3月&4月の「わんぱく学園」のメニュー

だれでも参加OK！ 出席もとらないからいつでも一人でもお友だち一緒でも大歓迎！

月 日	内 容
3月3日(日)	□ お休み
3月10日(日)	□ ホッカホカ ラーメンパーティー 集合場所：アトリエ「おちらと」 会費100円 担当：坂根玄明
3月17日(日)	□ ぜんざいカフェ ※集合時間：14時 開始時間変更のためご注意ください！ 集合場所：アトリエ「おちらと」 会費100円 担当：常賀信寛
3月24日(日)	□ 粘土コネコネして遊ぼう(陶芸) ～おひな様づくり～ 会費100円 担当：土江和世
3月31日(日)	□ 春の愛宕山公園へ ※持ち物：お弁当(おむすびOK)、水筒、敷物、ごみ袋 集合場所：平田中学校校門周辺 会費100円 担当：常賀信寛
4月7日(日)	□ 海辺(北浜海岸)の清掃 ペットボトル等回収 ～話題のペットボトルのごみで“平和の塔”作らない？～ ※持ち物：水筒、敷物、ごみを入れる袋(レジ袋等) 会費100円 担当：常賀信寛、土江和世
4月14日(日)	□ 野立て(お抹茶)しない？ ～お茶碗を笹竹でつくろうか？～ 場所：山崎古墳竹林(土江家) 会費100円 担当：坂根玄明、土江和世
4月21日(日)	□ よもぎもち作り ※準備 エプロン、※指のツメ切ってきてね。 場所：アトリエ「おちらと」 会費100円 担当：山口恵子、土江和世
4月28日(日)	□ お休み

*集合時間：9時50分 集合場所：指定の場所へ来てくださいね。

問い合わせ&発行元

〒691-0031 出雲市東福町156-1 NPO法人サポートセンターどりーむ

TEL & FAX : 0853-62-4872 メール : sc-dream-kt@sky.plala.or.jp

art-art@amail.plala.or.jp